(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第4019174号
(P4019174)
(45)発行日　平成19年12月12日(2007.12.12)　(24)登録日　平成19年10月5日(2007.10.5)

(51)Int.Cl.　F I
A63F 7/02 (2006.01)　A63F 7/02 320
A63F 7/02 317

請求項の数 1　(全 5 頁)

(21)出願番号　特願平5-250686
(22)出願日　平成5年10月6日(1993.10.6)
(65)公開番号　特開平7-100254
(43)公開日　平成7年4月18日(1995.4.18)
審査請求日　平成12年9月25日(2000.9.25)
審判番号　不服2003-21906(P2003-21906/J1)
審判請求日　平成15年11月12日(2003.11.12)

(73)特許権者　000148922
株式会社大一商会
愛知県名古屋市中村区鴨付町１丁目２２番地
(74)代理人　100106725
弁理士　池田　敏行
(74)代理人　100105120
弁理士　岩田　哲幸
(72)発明者　市原　高明
愛知県西春日井郡西春町大字沖村字西ノ川１番地　株式会社大一商会内
(72)発明者　奥本　博己
愛知県西春日井郡西春町大字沖村字西ノ川１番地　株式会社大一商会内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】弾球遊技機

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１入賞口と、
前記第１入賞口への打球の入賞によって図柄の変動及び停止が可能とされる第１図柄表示部と、
前記第１図柄表示部が停止すると開放状態に制御されるとともに、前記第１図柄表示部の表示結果が第１所定図柄である場合とそうでない場合とで開放時間が異なるように制御される第１入賞装置と、
第２入賞口と、
前記第２入賞口への打球の入賞によって図柄の変動及び停止が可能とされる第２図柄表示部と、
前記第２図柄表示部の表示結果が第２所定図柄であるか否かに応じて開放制御するか否かが決定されるとともに、開放状態に制御されるとき前記第１図柄表示部の表示結果が前記第１所定図柄である場合とそうでない場合とで開放時間が異なるように制御される第２入賞装置と、
を備えることを特徴とする弾球遊技機。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【産業上の利用分野】
本発明は、打球を遊技領域に打込み、打込まれた打球が遊技領域を落下する際に入賞口等

に到達したときに、景品球が払出される弾球遊技機に関する。
【０００２】
【従来の技術】
遊技領域中の所定点に打球が到達したときに図柄が変動を開始し、変動停止時の図柄が所定図柄であったときに入賞口を開放して特別入賞状態を実現する弾発遊技機がよく知られている。この種の弾発遊技機は遊技者の遊技心に適合しており、広く普及している。
【０００３】
【発明が解決しようとする課題】
しかしながら、従来の弾球遊技機は基本的に１つの図柄表示装置を利用するにとどまっており、遊技者の遊技心を充分に満足させるには至っていない。
本発明は、遊技者によりダイナミックな遊技心を与えることが可能な弾球遊技機を提供するものである。
【０００４】
【課題を解決するための手段】
請求項１に記載した発明の弾球遊技機は、第１入賞口と、前記第１入賞口への打球の入賞によって図柄の変動及び停止が可能とされる第１図柄表示部と、前記第１図柄表示部が停止すると開放状態に制御されるとともに、前記第１図柄表示部の表示結果が第１所定図柄である場合とそうでない場合とで開放時間が異なるように制御される第１入賞装置と、第２入賞口と、前記第２入賞口への打球の入賞によって図柄の変動及び停止が可能とされる第２図柄表示部と、前記第２図柄表示部の表示結果が第２所定図柄であるか否かに応じて開放制御するか否かが決定されるとともに、開放状態に制御されるとき前記第１図柄表示部の表示結果が前記第１所定図柄である場合とそうでない場合とで開放時間が異なるように制御される第２入賞装置と、を備える。
【０００５】
【作用】
請求項１に記載した発明の弾球遊技機によれば、第１図柄表示部によって実現される遊技状態の多様性に加えて、第２図柄表示部によって実現される遊技状態の多様性が相乗され、全体として極めて変化に富んだ遊技状態が実現される。この結果、遊技者の遊技心に、より高いレベルで応えることが可能となる。
【０００６】
【実施例】
図１は、本発明を具体化した一実施例に係わるパチンコ機の正面図を示している。また図２はこのパチンコ機によって実行される処理手順を示している。図２の処理(A) ～(D) は同時並行的に実行されている。
図１中＃６は起動入賞口を示しており、ここに打球が到達（入賞）すると、通常の景品球払出処理の他、図中＃７に示す第１中央入賞口＃７が一定時間開放される（図２の(A) の処理）。具体的には＃７の第１中央入賞口が短時間２回開放される。
【０００７】
図中＃１３は第１左入賞口であり、また＃１４は第１右入賞口を示している。第１入賞口、すなわち第１中央入賞口＃７、第１左入賞口＃１３、第１右入賞口＃１４のいずれかの一つに打球が入賞すると（図２のステップＢ１）、通常の景品球払出処理の他、第１図柄表示装置＃１５が変動を開始する（図２のステップＢ２）。この実施例では第１入賞口＃７、＃１３、＃１４が第１図柄変動装置＃１５の変動を開始させる第１所定点となっている。
【０００８】
第１図柄表示装置＃１５は左右１対の図柄変動盤を有しており、変動開始後一定時間経過するとまず左側の図柄変動盤が変動を停止し、ついで右側の図柄表示盤が変動を停止する（ステップＢ２）。第１図柄表示装置＃１５の変動が停止すると、停止されたときの図柄が継続して表示される一方、停止時の図柄が第１所定図柄と比較される（ステップＢ３）。第１所定図柄は左右の図柄が揃った図柄であり、停止時の図柄が第１所定図柄であれ

ば、入賞口＃１０を長時間（Ｔ１Ｌ）開放する（ステップＢ４）。一方停止時の図柄が第１所定図柄でなければ、入賞口＃１０を短時間（Ｔ１Ｓ）開放する（ステップＢ５）。なお第１図柄表示装置＃１５の図柄は、次に図２のステップＢ２で図柄が変動を開始し始めるまで継続的に表示される。

【０００９】

図中＃１１は第２左入賞口であり、ここに打球が入賞すると（図２のステップＣ１）、通常の景品球払出処理の他、第２左図柄表示装置＃１６が図柄を変動させ始める（ステップＣ２）。この場合の図柄は、０～９の１０種の数字のうちの１つが表示されるものであり、その表示図柄が次々に変ってゆく。第２左図柄表示装置＃１６が図柄変動を開始した後所定時間が経過すると、変動が停止し（ステップＣ２）、０～９の１０種の数字のうちの一種の数字が固定的に表示される。このとき停止した図柄が第２所定図柄か否か比較される（ステップＣ３）。ここで第２所定図柄は奇数であり、偶数であればステップＣ３はＮＯとなる。

【００１０】

第２左図柄表示装置＃１６が奇数で停止したときに、第１図柄表示装置＃１５の表示図柄が第１所定図柄であれば、特別入賞口＃８を長時間（Ｔ２Ｌ）開放する（ステップＣ６）。すなわちこの場合、特別入賞口＃８を特別入賞状態とする。一方第２左図柄表示装置＃１６が奇数で停止しても、そのとき第１図柄表示装置＃１５が第１所定図柄でなければ、特別入賞口＃８を短時間（Ｔ２Ｓ）開放する（ステップＣ７）。この場合は中程度の特別入賞状態とする。一方、第２左図柄表示装置＃８が偶数で停止すると、特別入賞口＃８は開放されない。なお図２（Ｃ）の処理は、第２右入賞口＃１２に打球が入賞したときに、第２右図柄表示装置＃１７と特別入賞口＃９によって全く同等に実行される。

【００１１】

さて図２(C)の第２左（右）入賞口＃１１（１２）に打球が入賞し、ステップＣ６で特別入賞口＃８（９）が特別入賞状態とされている間、及びステップＣ７で特別入賞口＃８（９）が中程度の特別入賞状態とされている間（そしてステップＣ３でＮＯの場合は、第２左（右）図柄表示装置＃１６（１７）が図柄を変動させている間）に、第２左（右）入賞口＃１１（１２）に打球が入賞すると、その入賞球の数がカウントされる（図２(D)参照）。そしてそのカウントされた打球分だけ、ステップＣ２以後の処理が繰返される（ステップＣ８）。

【００１２】

本実施例の場合、第１図柄表示装置＃１５で第１図柄表示装置が構成されており、この第１図柄表示装置＃１５は第１所定点、この場合第１中央入賞口＃６、第１左入賞口＃１３、または第１右入賞口＃１４に打球が到達して入賞したときに図柄を変動させ始める。図柄が変動を始めた後所定時間が経過すると変動は停止し、停止したときの図柄が次に変動を開始するまで継続的に表示される。

【００１３】

また本実施例の場合、第２左図柄表示装置＃１６と第２右図柄表示装置＃１７の２個の第２図柄表示装置が組込まれており、第１図柄表示装置＃１５と第２左図柄表示装置＃１６の組合せ、及び第１図柄表示装置＃１５と第２右図柄表示装置＃１７の組合せによって多様な入賞状態が実現される。すなわち第１、第２図柄表示装置がともに所定の条件を満たしたときに本来の特別入賞状態とし、一方の条件が揃っても他方の条件が揃わないと中程度の特別入賞状態にとどめること等によって多様な遊技状態が得られる。

【００１４】

【発明の効果】

本発明によると、第１図柄表示装置の作動状態による多様性に加えて、第２図柄表示装置による多様性が相乗されるために、極めて変化に富む遊技状態が実現可能となる。

【図面の簡単な説明】

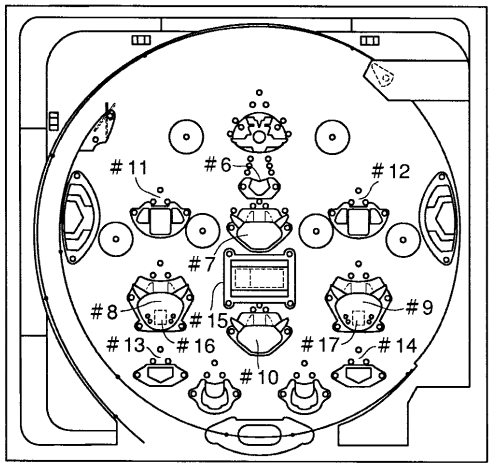
【図１】一実施例のパチンコ機の打球領域正面図

【図２】一実施例のパチンコ機の処理手順図

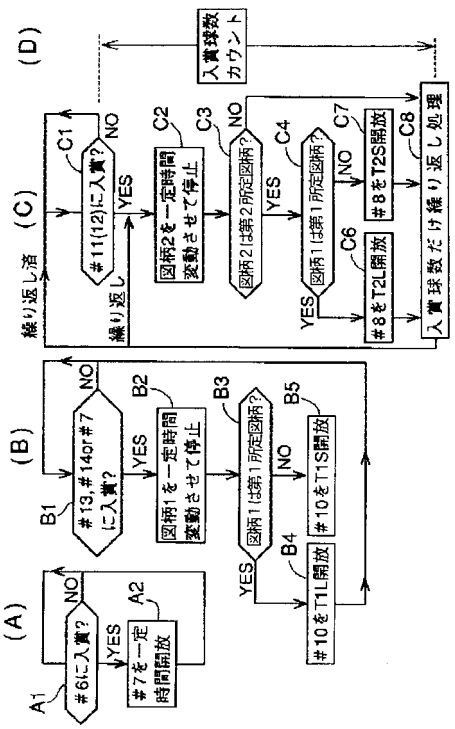
【符号の説明】

＃７　　第１中央入賞口
＃８　　特別入賞装置
＃９　　特別入賞装置
＃１１　第２左入賞口
＃１２　第２右入賞口
＃１３　第１左入賞口
＃１４　第１右入賞口
＃１５　第１図柄表示装置
＃１６　第２左図柄表示装置
＃１７　第２右図柄表示装置

【図１】



【図２】



フロントページの続き

(72)発明者　水野　成規
愛知県西春日井郡西春町大字沖村字西ノ川１番地　株式会社大一商会内

合議体
審判長　三原　裕三
審判官　渡部　葉子
審判官　小林　俊久

(56)参考文献　特開平２－２８３３８８（ＪＰ，Ａ）
特開平４－１０５６７４（ＪＰ，Ａ）
特開平４－９７７６８（ＪＰ，Ａ）
特開平４－１１７９８０（ＪＰ，Ａ）